

『就実論叢』第45号 抜刷

就実大学・就実短期大学 2016年2月29日 発行

縫製技術の向上とボランティア活動の試み(第2報)

Improvement in Sewing Technology and the Trial of a Volunteer Activity (2)

菊 永 典 子

縫製技術の向上とボランティア活動の試み(第2報)

Improvement in Sewing Technology and the Trial of a Volunteer Activity (2)

菊 永 典 子

1. はじめに

前報¹⁾で報告したタオル帽子を製作して病院へお届けするボランティア活動において、参加学生が3人と少なく、今年はより多く参加してもらいたく、まず、ボランティア活動の経験の有無、現在の状況、タオル帽子製作への関心度などボランティアに関するアンケート調査の実施を試みた。学生のボランティア活動に対する意識、傾向がわかり、今後の計画の参考となったが、できるだけ多くの学生に参加してもらおう活動へと発展させる望みはかなわなかった。

最初ボランティア活動に興味を示してくれた学生は半数(49人)程だったが、実際の製作練習に参加した学生は7人とずいぶん少なくなり、最終的に、今年度の参加学生は4人となった。この4人の学生は、放課後、定期的に熱心に製作に取り組んでくれているので、とても心強い。手先の器用さと丁寧さを必要とする特殊なボランティアなので、参加学生を多く望むのはなかなか難しいものであった。

前報で、初回にお届けをした時の病院の受け入れ態勢がそれぞれ異なっていて困難であったことを述べたが、今回は、前報の病院先の一つを別の病院に変更して、最終的には最初の計画通りガン診療拠点病院である3病院すべてに、快く受け入れの態勢が整ったうえでのお届けとなった。

このボランティア活動はやっと3回目のお届けがこの夏にできたところで、前報以降、アンケートが続々と届き、問題点も見つかり、改良を試みている。このボランティア活動が徐々に軌道に乗ってきたのでその報告をする。

2. ボランティアに関するアンケート調査

後期被服実習の副教材として始めたタオル帽子²⁾を学生の体験談から昨年よりボランティア活動への試みをしたが、昨年の参加学生は3人と少なかった。今年はより多くの学生に参加してもらいたくて、被服実習履修者に限らないで、1年生全員にアンケート調査をして募集しようとした。アンケート調査は1年生の後期10月に行い、本格的な製作にかかるのは2年生になってからとした。

まず、ボランティア活動の状況についての調査をした。

以前にボランティアを経験した学生は95人中80人であり、そのうち41人が(1)清掃ボランティア(ゴミ拾い等)であり、次に(2)ももパト(交通安全チラシ配り、防犯キャンペー

ン、青年非行防止ボランティア等)の21人が多く、(3)学習支援ボランティア(保育園等での子供たちとのふれあい、小学校キャンプ、自由研究、工作教室等)の11人、(5)募金活動(24時間テレビ等)の6人、(6)その他(地区祭りの手伝い、トライアスロン手伝い、東北復興支援、ペットボトルキャップ集め等)9人であった。

しかし、現在はどうかというと、(2)ももパトが一番多く、18人であり、その他は2、3人であった。高校生の時は先生に勧められたり、ポイント制とかで半強制だったかのようであり、現在は残念ながらほとんどやめていた。(表1)

表1 ボランティア活動の状況

活動の内容	以前経験した (80/95人)	現在している (22/95人)
(1) 清掃ボランティア	41	3
(2) ももパト(チラシ配りなど)	21	18
(3) 学習支援ボランティア	18	2
(4) 介護施設等でのボランティア	11	0
(5) 募金活動	6	0
(6) その他	9	2

そこで、ボランティア活動についてどう思うか、希望するかどうかと、その理由を尋ねてみた。希望すると答えた学生は73人と多く、主だった理由は(1)「役に立ちたい。」の36人が一番多く、次に、(2)「経験や知識を増やし、視野を広げて成長したい。」が15人と多く、(3)「社会貢献は大事だ。」と(4)「人との関わりが楽しいし、やりがいがある。」が9人ずつであった。(表2)

表2 ボランティア活動希望の理由 (73/95人)

理由内容	人数
(1) 役に立ちたい。	36
(2) 経験や知識を増やし、視野を広げて成長したい。	15
(3) 社会貢献は大事だ。	9
(4) 人との関わりが楽しいし、やりがいがある。	9
(5) 今後の自分のアピールのため。	2
(6) 東北が好きだから復興支援を継続したい。	1
(7) したことがないから。	1

次に目的のタオル帽子ボランティア希望について尋ねた。希望者は49人と多く、その理由は(1)「人の役に立ちたい。」が26人と一番多く、(2)「もし自分がその立場になったら、帽子をもらえると嬉しいし、髪が抜けると悲しいから。」が6人、(3)「縫ったりするのが

好きで、被服が得意だから。」が5人、(4)「珍しいボランティアだと興味を持った。」が5人、(5)「上手に作れるかわからないけどできることなら。」も5人であり、(6)「時間があれば。」は2人であった。(表3)

表3 タオル帽子ボランティア希望の理由 (49/95人)

理 由 内 容	人 数
(1) 人の役に立ちたい。	26
(2) もし自分がその立場になったら、帽子をもらえると嬉しいし、髪が抜けたら悲しいから。	6
(3) 縫ったりするのが好きで、被服は得意だから。	5
(4) 珍しいボランティアだと興味を持った。	5
(5) 上手に作れるかわからないけどできることなら。	5
(6) 時間があれば。	2

そこで、いつか放課後に1個タオル帽子を製作してみましようかと誘ってみたところ、アルバイト等のそれぞれの都合とうまくかみ合わず、参加者は7人と少なくなりました。練習後、最終的に残ってくれたのは4人だった。やはり縫うことが好きでないと難しいので、今年はこの4人でのボランティア活動となった。このアンケート調査による参加者を多くという望みはかなわなかったが、ボランティア活動に対する学生の意識、傾向がわかり、今後の計画の参考となった。

3. 感想アンケート結果（I）

これは初回（H.26.7）にお届けしたタオル帽子に対するアンケートであり、前報で報告できたものはその一部で、早く届いた7人だけのアンケートだった。ほとんどのの方が問題点もなく喜んで下さっていたので、とてもうれしく感じていた。その後、感想アンケートが続々と届き、多くのご意見・ご要望等を頂くことができ、そこには問題点の指摘も頂いたのでその続きを紹介する。

(女・40歳) 被り心地はとても気持ち良い。

サイズはゆったりでよい。

肌触りのよいタオルを選んで下さってとても良い。

(女・69歳) 被り心地は柔らかくて良い。

サイズは大きすぎた。

どんな洋服にも合うようなシックな色柄だと被りやすい。ボンボンの子供っぽい。

- (女・55歳) 優しい被り心地で良い。
ジャストサイズ。
頭に湿疹がある場合は可能であれば縫い目が外にある方が良いかとも思いました。夏なので頭のでっぺんがない物はどうか。ガーゼの柄付きの布で作ると涼しいのではないのでしょうか。素敵なタオル帽子をありがとうございました。
- (女・63歳) 被り心地はとてもいい。
耳までかぶさってとてもいい。
頭のボンボンが少し重たい。下を向くと帽子が落ちる。
- (女・68歳) 被り心地は良い。
サイズは少し大きい。
なし。
- (女・50歳) ボンボンの内側が皮膚にあたって痛い。
サイズは少し大きい。
タオル素材のオーガニックで製作してみました。タオルの上部をとじてみました。そうしたら、残りの部分でいろいろデザインができます。とてもかわいいです。
- (女・77歳) 良かった。
大きかった。
縫い代に1本ゴムか紐等を通してあればサイズが合わせられると思う。
- (女・75歳) 涼しくて良い。
少し大きいですが、良い。
無地など地味な色が好みです。
- (女・45歳) とても良い。頭部のあたりも気持ち良い。
大きさは丁度よい。
私の頭に合うデザインでした。タオルではなく、綿ジャージ布地で無地だと、お出かけ用にもなると思いました。

(女・83歳) 良い。他の帽子と同じ、気持ち良い。
サイズは丁度よい。
ピンクがよい。タオルだから肌触りがよい。ボンボンがかわいい。早くに欲しかった。

(女・79歳) 被り心地は良い。
サイズは丁度よい。
冬になると少し黒色のものも良いと思う。

(女・68歳) 程良い感じ。
ぴったり。普通の帽子のような感じ。
もう少し地味な色のものが欲しい。

(男・69歳) 被り心地は良い感じ。
サイズは丁度よい。
夏用の涼しい帽子がない。

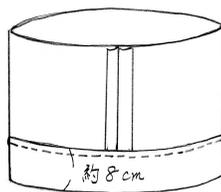
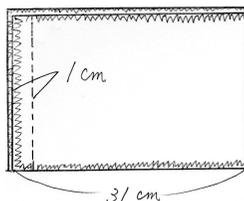
(女・44歳) とても被りやすかった。
少し大きめでしたが、とても良い。
頭の上の部分が当たる。色柄デザインが可愛く、40代でも抵抗なく被れた。
50歳以上の人でも被れる色柄がとてもよかった。

以上が初回にお届けした基本型のタオル帽子（副教材として試作したタオル帽子）の感想アンケート結果である。ご意見・ご要望を頂いたので、改良を加えることにした。

特に頭に湿疹ができていている方の場合の頭頂部の縫い代が痛いというご意見を重点的に考慮して改良にあたった。

4. タオル帽子の改良型（1）

- ① 基本型と同様中表で筒状に縫う。

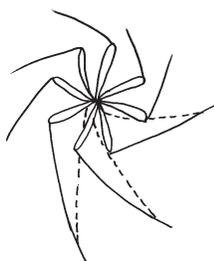


- ② 基本型ではそのまま頭頂部を縫いとめたが、この時点に表にひっくり返して頭頂部を縫いとめることにした。

まず2等分して、次に4等分、さらに8等分と縫いとめた。



- ③ 基本型と同様にダーツ縫いをする。このままではダーツの集まった頭頂部が裏っぽく見えるので、くるみボタン風をつけることにした。



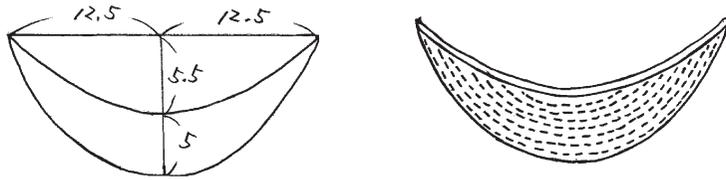
改良型（1）の出来上がり

以上、湿疹が出ている方で基本型の頭頂部の縫い代があたって痛いというご意見を考慮して改良にあたったところ、すべて裏返すのでは、まさに裏っぽくなるので、筒状に縫う部分と被り口部分の折り返しだけは裏側に縫い代をつけさせてもらった。

5. タオル帽子の改良型（2）

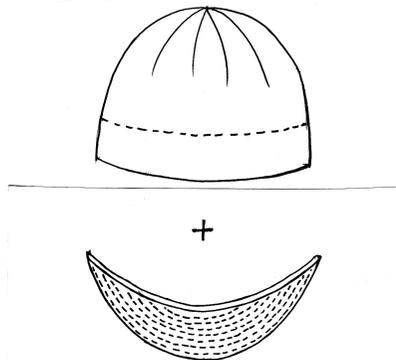
もう一つの改良型としては夏なのでひさしがあるといいかもというご要望があったので、その改良を試みた。まずひさしを残布で作り、それを基本型の帽子と合体させる方法をとった。

- ① 残布でひさし型に2枚裁断し、中表で縫い合わせてひさしを作り芯代わりに何度もミシン縫いをして仕上げる。



- ② 基本型の被り口部分を利用してひさしを挟みこんで合体するやり方とした。

基本型



改良型（2）の出来上がり

この帽子は頭に湿疹のない人に限りで、普通っぽいところがいいのではと思う。この帽子の製作には少し時間がかかるので、残念ながらまだお届けはできていない。

6. 感想アンケート結果（Ⅱ）

これは2回目（H.27.2）にお届けした改良後のアンケート結果である。

（女・59歳） 柔らかい感じがして被り心地がよい。

丁度よいサイズ。

花柄がとてもかわいいです。外出用に頭と違和感のない（黒とかダークグレー等）タオル帽子もいいかなあと思う。

（女・71歳） 被り心地いい。

サイズは丁度よかった。

無地のカラー、縦縞、横縞、チェックなど。

（男・66歳） さすがタオル地。被り心地、とても良い。Good!!

頭にぴったり。満足。

夏場の薄地のタオル地 or 手拭い地で通気性が良いヘアーバンド形式があれば・・・？（いろんな店を当たっていますが、見当たりません。）

- (男・58歳) 被り心地は良い。
少し大きかった。
もう少し暗い色の方が落ち着く。
- (女・63歳) 良い。暖かくて被りやすい。
サイズは良い。
無地もいいかもしれません。服に合わせやすいから。
- (男・61歳) 気持ち良い。
サイズは丁度よい。
汚れを気にしなくてよい色合いでうれしいです。洗濯にも強そう。ありがとう。
- (男・65歳) 最高です。
ぴったりでした。
ノープロブレム。丁度タオルの帽子が欲しかったところです。夏にはガーゼ地で作ろうと思っていました。ありがとうございました。
- (女・75歳) 良好です。
丁度よいです。
クリーム色と緑色は好きな色なので気に入っています。市販されているデザインでなく、上部の絞りがしゃれていると思います。私のお気に入りの帽子です。ありがとうございました。
- (男・76歳) タオルの柔らかさを感じます。
丁度の大きさ。
人それぞれに好みがありますが、形・柄ともに気に入って頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。
- (男・65歳) 良い。
若干小さめ。
なし。

- (女・71歳) 被り心地はいいですよ。
サイズは私にはいいですよ。
タオル地なので柔らかくていいです。頂いた柄はいいと思って頂きました。
2個頂きました。
- (男・78歳) タオル地は洗濯もきくし、被り心地は良いです。
サイズをもう少し大きくして頂けるといい。
無地か縞柄が好みです。
- (女・66歳) しめつけなくていい。
サイズ表示があれば選ぶときに便利。少し大きすぎた。
なし。
- (男・57歳) 被り心地は良い。
小さい。
LL寸法も作ってほしい。
- (女・23歳) 優しい被り心地。
少し大きめ。
シンプルなボーダーや水玉が可愛いと思う。
- (男・66歳) 柔らかくて気持ちいい。
頭にフィットしていい。
色柄が良かったのもらった。
- (女・56歳) 気持ちがいい。
身体がSサイズなので、少し大きいです。
家の中で被るものなので派手な柄を選びました。無地、ストライプ、
チェック等は市販品にもあるけれど、その他のカラフルな柄の方が好きです。
デザインは良い。
- (女・38歳) とても気持ちいい。
ちょうどいいかな。
まだ髪の毛が残っているので痛み等感じません。モノトーンの服が好きなので、黒やグレー等があると嬉しい。

(女・58歳) 厚手なので安心感があります。

髪がある時には小さいかなと思っていましたが、髪がなくなったら丁度よかったです。

家の中だけでなく、ちょっとした買い物などにも使っています。おしゃれな感じのいいかなと思います。ありがとうございます。がんばります!!

以上、このようにたくさんのアンケートを頂き、喜んでもらえたと思うと、とてもうれしく感じている。このようなアンケートを頂くことは製作者の何よりの喜びであり、励みとなっている。まだまだ改良すべき点も多く、みなさんにもっと喜んで頂けるものへと近づけてゆくよう努力したい。

7. タオル帽子の改良

①サイズについて

サイズと色柄との組み合わせで大量生産とはいかないので、Sサイズの方にはMサイズの被り口を折り返すと少しきつくなるので、そのようにして対応して頂くことにしている。折り返しができるように裾の縫い代を8cmと多くつけている。男性の方もいらっしゃるので、Lサイズの方用に少し大きめを用意することにした。

②色柄について

元気の出そうな派手な色柄を多くしていたが、病院やお家の中ではそれらもいいが、外出などでは目立たない、違和感のないような色柄を好まれることより、地味で落ち着く色柄を用意することにした。ご要望に多かった無地の黒とかグレー等のタオル地には、とかく薄地で安っぽく見えたりするものが多かったので、これからしっかりと探す予定である。

③頭頂部について

改良型(1)で示したように縫い代をできるだけ表に持ってゆくやり方で解決した。

④タオル残布の綿^{わた}としての使い方(ボンボン、くるみボタン風に)

布を細かくカットするだけでなくタオル地のパイルを引っ張ってほぐしてから繊維状になったところで細かくカットして使うようにした。その方がかさ高になって柔らかくて軽い仕上がりとなる。

⑤帽子の暑さ対策

夏場に帽子をずっと被っているのは相当暑いもので、暑さ対策として、次のことを考えた。

1案としてタオル帽子を全部水にぬらしてから、硬く絞って被る方法。

2案として保冷材入れポケット内側の後頭部あたりに付ける方法。

以上が現在のところの問題解決方法であり、まだまだ不十分ではあるが、少しずつ良いものへと改善されつつある。

8. おわりに

病院によって受け入れ態勢は異なっていると岩手ホスピスの会の活動報告³⁾により、覚悟の上で、ともかくあたってみた活動であり、前報での3病院のうち1病院は専属ボランティアの方々が製作されていて十分足りているようだったので、取りやめることにした。残る2病院は大変喜んで下さるようになり、「後輩にも続けていってもらえるように。今後ともよろしく。」とお願いされるまでになった。

取りやめた1病院よりも少し遠くにはなるが、もう一つの岡山市内のガン治療連携拠点病院にあたっていたところ、その病院が受け入れてくださることとなり、最終的には3病院への活動となった。これらの受け入れ態勢を得るまでにはなかなかの困難があった。今ではとても良い関係が築けてうれしく感じている。

できるだけ多くの学生の参加へと発展させる目的でアンケートをして誘ってみたものの、手先の器用さと丁寧さを必要とする作業であり、このボランティア活動は誰にでも簡単にできるといわけにはいかなくて、難しいものであった。

現在のところ参加学生は4人と少ないが、週1回放課後に集まっての製作活動である。何の報酬もないのに、楽しいと言って一生懸命頑張ってくれている学生達に感謝である。患者さんからのアンケートが何よりの喜びであり、励みとなっている。

このボランティア活動は年2回のプレゼント計画で製作を頑張っており、この夏でやっと3回目のお届けができたばかりである。病院の受け入れ態勢、患者さんからのアンケート、学生の参加のおかげでこの活動が成り立っていて、徐々に軌道に乗ってきているところでもありがたく思っている。これからも学生とともに頑張ろうと思っている。

謝辞

この活動にあたり貴重なアンケートを下された患者さんのみなさん、帽子の配布・アンケートの回収にご協力下さった病院の看護師さん、そしてボランティア活動に参加して頑張ってくれた学生達に心から感謝申し上げます。

引用文献

- 1) 菊永典子：縫製技術の向上とボランティア活動の試み、就実論叢第44号、p391-398（2014）
- 2) 菊永典子：タオル帽子、就実論叢第41号、p249-256（2012）
- 3) <http://hospice.sakura.ne.jp/towel.html>